5月15日号

●〒296-8602 千葉県鴨川市東町929 ●TEL04(7092)2211代)●発行責任者 亀田隆明 ●作成 広報企画室

●毎月1日・15日発行

6月1日号から 【診療担当案内】が変わります

■診療担当案内は月1回の情報更新に

これまで「亀田ニュース」の中ページ『診療担当案内』 は月2回(1日号・15日号)情報更新を行ってまいりまし たが、6月1日号から月1回の情報更新とさせていただき 「担当医表」はこちらから ます。

代わりに、最新の各 科診療情報はホーム ページ上で随時更新を 行ってまいります。当 院ホームページ(http://

 \bigcirc



www.kameda.com/ja/clinic/)のトップ画面から、『担当 医表』をご確認くださいますようお願いいたします。

なお、6月1日号の紙面から、見やすさに配慮し、『診 療担当案内』ページのデザインを一部変更する予定です。



【亀田クリニックからお知らせ】 お薬の引き換えについて

外来受診をされる皆さまには、診察後の会計や薬局 でのお薬の引換に長い時間を要し、大変ご迷惑をお掛 けしております。

【夕方や午前中の早い時間は待たずに引換できます】

受診時に処方されたお薬は、薬局の対応時間内であ ればいつでも引換可能です。

《薬局の対応時間》-

- ・(祝日除く)月~金曜 8:00~18:30まで
- ・(祝日除く) 土曜日 8:00~18:00まで

特に混雑を避けたいという方や、お薬の引換までの時 間を有効に使いたいという方は、夕方や翌日午前の早い 時間帯でお薬を引換いただくと、比較的スムーズに受け 取ることができます。その際、お薬のできあがり状況は 「お薬引換番号確認サービス」をご活用ください。

右記QRコードまたはインターネットか らは下記アドレスへアクセスいただくと、 ご用意のできているお薬引換番号を確認 することができます。



http://www.kameda.com/pr/medicine/

また診察後、会計が遅くなってもお薬のできあがり時 刻に影響はありません。お手数ですが、時間をずらして 会計いただくことをおすすめいたします。

地域連携小児夜間・休日診療について

当院では、地域の小児科の先生方と連携を取り、 夜間や休日で小児の急病の場合に常時診療可能な 体制を整えています。受診される際は、事前に代 表番号(☎04-7092-2211)まで、電話連絡をお願 いいたします。

<診療>・平 日 夕方18:00~朝8:00

- ・土曜日 昼12:00~夜24:00
- ・日曜日・祝日 終日



「臨床遺伝科外来」のご紹介

遺伝カウンセリングや遺伝子検査を行っています

当院では、遺伝に関するさまざまなお 悩みをもつ方々を対象に、遺伝カウンセ リングや遺伝子検査を実施する「臨床遺伝 科外来」を開設しています。



遺伝カウンセリングでは、遺伝が関わる病気の知識 と遺伝相談の経験をもつ医師や認定遺伝カウンセラー® が、相談にいらした方やご家族の病気の状況(いつ、どん な病気にかかったのか等)をお聞きし、それに基づいて 遺伝性の可能性がどれくらいあるのか、遺伝子検査や 治療、検診などの様々な選択肢について話し合います。

また、ご本人がその疾患についてどのように思ってい るのか、どれくらい理解しているのかを伺いながら、疾 患に関する情報、遺伝に関する情報、患者さまを支援 する社会的資源に関する情報などをお伝えし、不安や 心配事のご相談にも対応いたします。

【主な対象疾患】

遺伝性腫瘍(遺伝的にがんになりやすい体質)、子どもの 先天異常症、その他遺伝性疾患、出生前診断、遺伝の関 わる不妊症 など

【受診方法】

外来は 完全予約制 のため、当院へお掛かりの疾患に ついては、まずは主治医へご相談ください。それ以外 の場合は、予約センター(☎04-7099-1111、8:00~17:00/ 日曜・祝日除く)へお電話いただき、「遺伝カウンセリング 受診希望」とお伝えください。

なお、ご相談内容によっては、自費診療となる場合 があります。詳しくはお問い合わせください。

- ■遺伝性腫瘍: 火曜日(午後)
- ■遺伝性疾患・出生前診断: 金曜日(午後)

最終回 「足の痛みねんざ外来」での診断と治療 まとめ

こんにちは、スポーツ医学科医師の服部惣一です。 「足の痛みねんざ外来」を担当しております。今回でコ ラムは最終回ですので、これまでのまとめと、未来の 新しい治療を一つご紹介させていただこうと思います。

足首のねんざはスポーツで起こるケガで最も多く、 みなさんも一度は経験したことがあると思います。ね んざを放置すると靱帯が緩んでしまって、ねんざを繰 り返すようになります。また、足の様々なところに痛 みがでてきます。緩んでしまう靭帯は足の外くるぶし の少し前にあるのですが、足首の前側が痛くなったり、 後ろが痛くなったり、内側が痛くなったりします。ね んざを放っておくとこのような後遺症がでてきます。

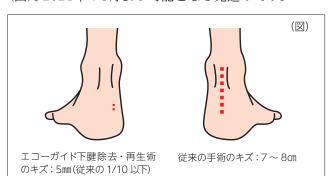
これらの症状がでた場合に「足の痛みねんざ外来」 では、まず丁寧な触診と超音波(エコー)にて原因がど こから生じているのかをみつけます。靱帯がどれほど 緩んでいるのか? 痛みが関節から来るものなのか? 腱から来るものなのか? 神経から来るものなのか? をはっきりさせます。もちろんレントゲンやCT、 MRIを行って正確な診断の一助とします。

治療に関しては、以前から行われてきたリハビリや サポーター、インソールに加えて、この外来の目玉で あるエコーを使用した細い針 $(0.5 \sim 0.3 \, \text{mm} \, \text{の太さ})$ で の無痛注射治療を行います。エコーを使うことでピン ポイントで患部に薬液を届けることができます。

サポーター、リハビリ、エコーガイド下注射によっ て90%の人は良くなるのですが、靭帯の緩さに由来

する痛みが取れない場合や、ねんざを繰り返してしま う場合は、エコーを使った究極の低侵襲手術(体への 負担が少ない手術)を行います。5~10mmといった小さ な傷で行うことができるので、術後の痛みが減り、創 部が感染するリスクの低下につながります。また、こ の手術に「再生医療」を組み合わせることによって、治 癒を加速させ、スポーツへの早期の復帰が可能になる のではないかと期待されます。

最後にもう一つ「未来の治療」を紹介させていただき ます。アメリカで行われておりますが、まだ日本に は導入されていない治療です。足の裏の痛みや踵の 痛み(ウォーキングやジョギングが趣味の人に多いで す) に対しては、ストレッチやインソールがこれまで 標準的な治療として行われてきました。これらの治療 で80%の人は改善するのですが、良くならない場合 に、エコーガイド下注射や、体外衝撃波や、再生医療 を追加することが効果的であることが分かってきまし た。ただそれでも痛みがでてしまう方がいて、このよ うな患者さまに対しては、私がアメリカで学んできた エコーを使用した手術を行います。従来の手術とは比 較にならないほど小さな傷で手術ができますので、手 術後の痛みが減り、運動への早期復帰が期待できます (図)。2021年の8月より可能となる見込みです。



6回のコラムにお付き合いいただきありがとうござ いました。足や足首の痛みで困った時は「足の痛みね んざ外来」を受診ください。また周りにお困りの方が いらっしゃれば、ぜひご紹介ください。

医師紹介

①担当科目 ②診療における得意分野



- ①腎臟高血圧内科(部長)、腎移植科(内科担当責任者)
- ②腎疾患全般、特に腎炎、腎病理
- ③スポーツ(サッカー、卓球)、将棋
- ④患者さまの状態を正確に診断し、個々に合った治 療を提供できるようにがんばりたいと思います。 よろしくお願いします。

Kameda Medical Center